

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について下記のとおり情報を公開します。
研究結果は学会等で発表される事がありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方や、研究計画、研究方法、または個人情報の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も、不利益を受けることはありません。

<研究課題名>急性腎障害の処置に hANP 投与した患者に関するレトロスペクティブ研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 心臓外科科 (研究責任者) 瀬在 明

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2017 年 12 月 31 日

<研究の目的と意義>

カルペリチド(hANP)は急性心不全治療薬として、認可されている薬剤です。本研究では、hANP の腎臓に対する効果について明らかにする多施設共同研究です。

hANP は、腎臓の輸入細動脈を拡張させ、輸出細動脈を収縮させる事によって糸球体濾過量を増やします。また、輸出細動脈の下流にある腎髄質に延びる血管を拡張させ、傍尿細管毛細血管への血流を維持させます。この部位は酸素需給バランスに余裕がなく、虚血による障害を受けやすいとされているため、hANP は腎保護効果も期待されています。その適切な使用は、医薬としての hANP の適用拡大による有効活用に繋がるほか、透析回避によって医療費の削減を行えるなど医療経済的観点からも期待されております。

<対象となる患者さん>

西暦 2005 年 1 月 1 日～西暦 2016 年 6 月 30 日の期間に腎前性急性腎障害と診断された方

<研究の方法>

研究対象は、腎前性の急性腎障害の処置に hANP 投与をした患者から得られた診療情報を後ろ向きに収集・解析することで、腎前性の急性腎障害に対する hANP 処置の効果を検討します。投与群は 2005 年 1 月 1 日～2016 年 6 月 30 日に腎前性急性腎障害と診断され、hANP 投与を受けた患者様。一方、対照群は hANP 投与を受けなかった患者様とします。

【主要評価項目】21 日以上生存者の治療後の eGFR

【副次評価項目】生存者の 21 日以上透析回避の割合、21 日以上生存した割合、hANP の最適な初期投与パターン、尿量、血清 Cr、血清アルブミン、BUN、eGFR、ヘモグロビン値、最大尿量に達するまでの日数、血中電解質、血圧

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

心臓外科 氏名:瀬在 明

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2462 (PHS)8668

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1606)